



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



輝北 難コースを駆け抜ける

5月10日、輝北町市成の輝北うわば公園で「第26回南日本クロスカントリー大会INきほく」が開催されました。

競技は、ファミリーの部や一般の部など8種目が行われ、県内外から532人のランナーがエントリー。参加者は、桜島を望む雄大な景観のなか、起伏に富んだ九州でも有数の難コースに苦闘しながらも、健脚を競いました。



まちのなかで蜂蜜を採取

5月8日、リナシティかのや屋上で蜂蜜の採取が行われました。

これは、3月上旬から行われている「リナシティみつばちプロジェクト2014」の取り組みの一つとして行われたもので、蜂蜜の採取は4月23日に続き2回目。

この日採取された蜂蜜は前回の20kgを上回る24kg。透き通った黄金色の蜂蜜に、参加者からは歓声があがっていました。



薩摩義士の偉業を紙芝居で披露

5月2日、寿・上小原・鹿屋の3小学校で、約260年前の江戸時代に行われた宝暦治水を題材とした「薩摩義士物語」の紙芝居の朗読が行われました。

紙芝居を披露したのは治水工事の総奉行「平田靱負」から9代目の子孫にあたる高須町出身の平田靱久さん。薩摩義士の偉業を迫真の朗読で伝える姿に、子どもたちは真剣に聞き入っていました。



レクリエーションで汗を流す

5月24日、市体育館で「鹿屋市保健福祉ふれあいレクリエーション」が開催されました。

当日は、高齢者クラブや母子寡婦福祉会など約400人が参加。じゃんけん列車やリズム体操といったレクリエーションやおはら節などの踊りが行われました。

参加者はレクリエーションを通してお互いの親睦と交流を深めていました。



プロの選手からバスケットを学ぶ

5月25日、リニューアルされた市体育館でバスケットボールセミナーが行なわれ、肝属地域の小中学生約120人が参加しました。

指導者は、「レノヴァ鹿児島」のプロ選手やコーチ。ドリブルやスクリーンなどの基本を学んだあとで、プロ選手と真剣勝負。プロの巧みな動きに苦戦しながらもシュートが決まると、観客席からは大きな歓声が沸いていました。



鹿屋体育大学が九州リーグで優勝

5月15日～18日、市体育館・串良平和アリーナ・鹿屋体育大学の3会場で「九州大学春季バレーボール女子リーグ鹿児島大会」が開催されました。

これは、毎年春と秋に行われているリーグ戦が鹿屋市で開催されたもので、九州内の大学39校が参加。昨年全日本インカレで優勝した鹿屋体育大学は、2010年春から7大会連続で優勝を果たしました。